

# やくぶつらんようぼうしきょうしつ ようす 薬物乱用防止教室の様子です

がつ か ねんせい やくぶつらんようぼうしきょうしつ  
12月8日に6年生で薬物乱用防止教室をしました。

## ★自然ちゆ力

びょうき  
病気やけがをなおすために、からだにそなわっている力。  
ちから  
こころと体が元気だとその力が強い。

## ★薬ってなに？

しぜん りょく  
自然ちゆ力ではなおせないときなどに使う。

きん いた ねつ けんこう じょうたい もど てつだ  
ばい菌をやっつけたり、痛みや熱をおさえてくれ、健康な状態に戻るのを手伝ってくれる。

## ★正しい飲み方

ただ のみ かた  
薬を飲むとき、はじめて薬の効果がある  
の くすり じかん かいすう りょう まも ただ つか ふくさよう  
・飲み薬は、時間、回数、量を守る。正しく使わないと、副作用が起こることもあり、効き

めがないこともある。薬を人にあげたり、もらったりしない。

## ★危ない薬（薬物）について

やくぶつ たいま かく ざい しんな きけん だらっぐ など。  
・薬物とは、大麻、覚せい剤、シンナー、危険ドラッグなど。

やくぶつ きず のう ぜんしん し  
・薬物で傷ついた脳はなおらない。全身がぼろぼろになる。死んでしまうこともある。

くろ いぞんしょう  
・いらいらする、苦しくなる、やめたくてもやめられない依存症になる。

やくぶつ じぶん まわ ひと きず かぞく ぼうりょく  
・薬物は、自分や周りの人を傷つけてしまう。家族に暴力をふるったり、

こうつうじ こ お はんざい  
交通事故を起こしたり、犯罪をおかしてしまうこともある。

## ★お酒について

さけ さい の ほうりつ きんし  
・お酒は20才まで飲んではいけない。法律で禁止されている。

こ さけ の のう しんちょう へつたつ えいきょう  
・子どもがお酒を飲むと、脳、身長などの発達に影響する。

さけ の し きゅうせい ちゅうどく  
・お酒を飲みすぎて、死んでしまうこともある。急性アルコール中毒という。



こうし がっこうやくざいし  
講師は、学校薬剤師  
やまさき  
山崎先生でした。



やくぶつ もんだい もんだい とかい よなご ぼしよ  
★薬物の問題はみじかな問題。都会だけではなく、米子などみじかな場所でもある。

う がわ げんき で だいえつと すぼーつが  
・売る側は、「みんなやってる」「元気が出る」「すっきりする」「ダイエットになる」「スポーツが

うまくなる」「お金は次でいい」など言葉たくみにすすめる。さそわれたときは、きっぱり断

る。逃げる。こまったときは、近くの信用できる大人に相談する。

じぶん たいせつ やくぶつ ちか たいせつ けんこう げんき こころ からだ  
★自分を大切にする。薬物を近づけないために大切なことは、健康で元気な心と体でいる

こと。健康な心と体でいるためには、規則正しい生活、1日3食の食事、

すいみんじかん うんどう  
睡眠時間をしっかりとる、運動をする。

## じどう かんそう 児童の感想

しょうらい もくひょう も もくひょう む どりょく  
・将来の目標を持ち、目標に向かって努力する。

20才になるまでお酒を飲まない。

くすり びょうき げいん じぶん ほか ひと めいわく  
・薬はこわい。(病気の原因になる。)自分だけじゃなくて、他の人にも迷惑がかかる。

くすり わ まやく う ひと かね し  
・薬のことがよく分かった。麻薬などを売る人たちはお金めあてだということを知った。

どつか いぞんしょう し くすり けつちゅうのうど き  
・1度使ったらやめられなくなって依存症になることを知った。(薬の)血中濃度には気を

つけようと思った。

まやく かぞく きず くすり き りょう まえ くすりの  
・麻薬で家族などが傷つくこと、薬は決まった量だけ。前の薬は、飲んではいけないことを

知った。

くすり き かいすう りょう はい ぎやく し  
・薬は決まった回数や量をやぶって2倍にしたりすると、逆にわるいことがおきることを知

った。薬には、いいものもあるけど、悪いものもあるということを知りました。薬物とかを

つかうと、全身がぼろぼろになるのも怖いと思いました。ちゃんとことわって、薬物をつか

わないようにしたいと思いました。